

# トリプルワン(6695)

2021/10 期は引き続きエンジニア系人材の確保が重点課題。経費負担増は半導体市場の成長性で吸収へ

フィリップ証券株式会社

TOKYO PRO Market | EMS・ODM(受託製造サービス) | 業績フォロー

BLOOMBERG 6695 JP | REUTERS 6695.T

- 2020/10 通期は、売上高が前期比 59.6%増、営業利益が同 8.0%減、経常利益が同 8.0%減、当期利益が同 7.9%の増収減益だった。
- セグメント別の売上高は、システム事業が前期比 53.4%増、プロダクツ事業が同 78.2%増、エンジニア事業が同 0.5%増と全て増収。
- 2021/10 期は前期に引き続きエンジニア系人材の確保が経営の重点課題。人件費負担は半導体市場の成長性で吸収されると見込まれる。

## What is the news?

12/21 発表の 2020/10 通期は、売上高が前期比 59.6%増の 35.76 億円、営業利益が同 8.0%減の 1.37 億円、経常利益が同 8.0%減の 1.42 億円、当期利益が同 7.9%減の 93 百万円の増収減益となった。半導体業界におけるサーバや PC の特需が一巡したことに加え、スマートフォンや自動車の売れ行きがそれほど回復していない環境の下、全事業セグメントで増収を達成した一方、コロナ禍の影響や人件費および仕入等の増加が利益面で響いた。

セグメント別の売上高は以下の通り。①メカトロニクス装置の設計開発などを行うシステム事業は、前期比 53.4%増の 11.39 億円。事業所の規模拡大の効果や大型装置の新規受注獲得が貢献した。②各種電子部品等の販売などを手掛けるプロダクツ事業は、前期同様の大型装置の受注が好調だったことから同 78.2%増の 21.35 億円。③人材派遣及び受託開発を営むエンジニア事業は、人員増による増収があった一方でコロナ禍の影響を受けて同 0.5%増の 3.01 億円にとどまった。

## How do we view this?

2021/10 通期会社計画は、売上高が前期比 14.3%増の 40.88 億円、営業利益が同 24.0%増の 1.70 億円、経常利益が同 20.8%増の 1.71 億円、当期利益が同 13.9%増の 1.06 億円の増収増益である。

同社が属する半導体業界は、新型コロナウイルスの感染対策として世界各国で導入が進んだ在宅勤務や、巣ごもり需要の増加などライフスタイルの変化による恩恵を受ける分野があり、それらが下支えすると考えられる。また、一般社団法人日本半導体製造装置協会が 2020 年 7 月に発表した半導体・FPD(フラット・パネル・ディスプレイ)製造装置需要予測によれば、2021 年における日本の半導体製造装置の販売合計予想額が前年比 7.0%増の 2 兆 9,100 億円であり、その内、半導体が同 10%増と成長加速の見通し。そのため、同社は営業機会の拡大を見込んでいる一方、調達資材の高騰や人件費増大が避けられないと予想している。

将来の IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、次世代 5G 通信の普及拡大によるデータ主導型社会の到来を見据え、同社はエンジニア系人材の確保を進めることを重要課題として捉えている。優秀な人材確保に伴う費用面の負担が想定されるものの、半導体市場の成長性によって吸収されることが見込まれよう。

## 業績推移

事業年度	2018/10	2019/10	2020/10	2021/10F
売上高(千円)	1,275,474	2,240,907	3,576,577	4,088,000
経常利益(千円)	58,883	154,720	142,407	171,962
当期利益(千円)	38,667	101,653	93,608	106,616
EPS(円)	219.20	576.26	530.66	604.40
PER(倍)	6.84	2.60	2.83	2.48
BPS(円)	1,233.67	1,784.94	2,290.60	-
PBR(倍)	1.22	0.84	0.65	-
配当(円)	25.00	25.00	25.00	25.00
配当利回り(%)	1.67	1.67	1.67	1.67

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) 25.00 (会社予想)  
 株価(円) 1,500 2021/2/4(基準値)

## 会社概要

1995年に資本金1,000万円で株式会社「スタック」を設立。国内外メーカーの半導体製品およびコンピューター機器の販売、電子機器受託製造サービス(EMS)、ならびに基板設計とハードウェア・ソフトウェアの開発を開始した。2000年に「スタック」から「トリプルワン」へ社名を変更した。

同社は、①メカトロニクスの設計開発から加工・組立・製造を一貫して行うシステム事業、②半導体・電子部品の提供と部品調達から一貫したEMSを行うプロダクツ事業、③ハードウェア・ソフトウェアの開発設計サービスを派遣または受託開発という形態でクライアントへ提供するエンジニア事業を中心に展開している。

また、国内では東京本社の他、横浜事業所や福岡支社を開設し事業を展開している。2016年に一般社団法人日本個人情報管理協会よりJAPICOマーク(個人情報保護認証)を取得した。2017/6/30にTOKYO PRO Marketに上場した。

## 企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## 主要株主(2021/1/29)

株主名	(%)
1. 福島慶多	24.39
2. 吉田隆治	15.73
3. 塩田秀明	10.96
4. 三浦隆夫	5.48
5. 丸文(株)	5.48
6. 福島トシ	5.48

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

### 笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。